

ごていねいなご依頼状、本日頂戴いたしました。定評ある貴誌にご掲載いただく価値のある原稿など、とても書けそうにありませんが、せっかくのご指名ですので、喜んで執筆させていただきます。

テーマ等につき、さばに詳しいご説明をお伺いしたので、ご都合のよろしいときに、お電話をいただければ幸いです。

まずはお返事まで。

敬具